



校長通信

令和6年度 2号 令和6年4月16日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

1学期がスタートし、約1週間が経ちました。1週目は、気を張っていて、疲れを感じる余裕もなかったと思いますが、2週目くらいから疲労を感じる生徒も少なくないと思います。悩みや気になることがあれば、学級担任や信頼できる先生に相談してほしいと思います。肉体的な疲労を和らげるには、睡眠をしっかりとる、栄養のバランスを考えた食事をとるなど、規則正しい生活を送ることが一番です。保護者の方には、子供さんの生活習慣を整えるよう努めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

《学校支援サポーターと派遣先学校との対面式が NHK ニュースに》

4月4日県庁北別館大会議室において、学校支援サポーターと派遣先学校長との対面式があり、本校の学校支援サポーターさんと私が出席して来ました。学校支援サポーターとは、警察官 OB で、警察本部生活安全部少年課長の指揮を受け、教職員と協力して、学校内外における巡視及び生徒の安全を確保する役目を担ってくれています。

この対面式に NHK が取材に来ており、本校のサポートさんの着席している姿と、私が起立してマイクをもって話している姿が、NHK のニュース番組、「ギュギュっと和歌山」「ほっと関西」「和歌山 8 4 5」で報道されました。3番組で報道されたので、結構見てた人が多くて、私の親戚、友人等からの反響がよかったです。

本校の学校支援サポーターさんは、本校に来ていただいて5年目となります。校門や校内での生徒の安全確保に、本校の職員と協力して尽力してくれています。生徒との関係も良好で、たいへん助かっています。

《私が剣道の稽古を続ける理由》

校長通信第2号、2つ目の話題は私のプライベートの話となりますが、お付き合いください。私は、小学校4年生から、自分が通う小学校区で少年剣道クラブが発足されたのをきっかけに剣道を始めました。以来、中学校、高校、大学も剣道部で、稽古に汗を流して来ました。そして、今も、週に2回、稽古をしています（仕事や都合で出来ない日もありますが・・・）。今年で剣歴50年となります。



剣道の魅力は、相手と竹刀を構えて相対し、お互いに相手に敬意を払いながら、技を出すところにあります。もちろん、打たれることもあります。お互いに精一杯力を出し合うので、「ありがとうございました」の礼で、稽古を終えた時は、爽快感でいっぱいです。剣道の、相手との間合いをはかり、攻めたり攻められたりするところは、人と人とのコミュニケーションにも通ずるところがあると思っています。まわりの人と良好な人間関係を結ぶ上でも、剣道の稽古は役立っていると自分では思っています。

5月、京都市で開催される剣道8段審査に、チャレンジしてきます。私の修業は、これからも続きます。

